

塩尻市でEV型バスの 自動運転レベル2実験

オリコンサル

オリエンタルコンサルタ
ンツは、長野県の塩尻市振
興公社（古畑耕司理事長）
らと電気自動車（EV）の
走行実験を開始した。駅と
利用者の多い商業施設を結
び、持続可能な地域交通の
構築につなげる。官民連携

によるMaas（モビリティ・アズ・ア・サービス）の実現を目指す。実験は28日までを予定する。

走行区間はJR篠ノ井線
広丘駅を起点に生活雑貨を
扱う無印良品、ドラッグス
トアのツルハ塩尻広丘店を
結ぶ延長約3・8^{キロ}。所要
時間は約30分間を想定し、
運転車がハンドルなどを操
作しながら走行する「自動
運転レベル2」で行う。

塩尻市振興公社と市が全
体統括、アイサンテクノロ
ジーは実験のまとめ役を担
う。オリコンサルは自動運
転利用者のモニターアンケ
ートや課題整理、対策立案
で協力する。自動運転技術
の効果を見つつ、時速20^{キロ}
未満で公道を走らせる「グ
リーン・スロー・モビリテ
ィ」も実証実験する。

オリコンサルは交通政策
や交通技術の視点で地域に
応じた交通街づくりに貢献
する。政策立案を通じて地
方創生を推し進める考え。